



平成31年3月22日
海上保安庁

ジブチ共和国で海賊護送訓練、意見交換を実施

海上保安庁では、平成31年3月17日～19日の間、ジブチ共和国に奥島海上保安監を団長として当庁職員を派遣し、ジブチ側関係機関との間で海賊護送訓練、海賊対策等にかかる意見交換を実施しました。

海上保安庁では、ソマリア沖・アデン湾で海賊事案が発生した際の法執行活動に備え、海賊対処に派遣される海上自衛隊護衛艦に海上保安官8名を同乗させています。

3月18日、逮捕した海賊の身柄を、ジブチ共和国内を經由して我が国に護送する必要が生じた場合を想定し、迅速かつ円滑な身柄の護送ができるよう、ジブチ沿岸警備隊と連携して海賊護送訓練を実施しました。

今回で7回目となる本訓練は、ジブチ沿岸警備隊の全面的な協力により滞りなく実施され、訓練を視察いただいた藺浦内閣総理大臣補佐官から「現任務に誇りを持ち、引き続き頑張ってもらいたい」との激励の言葉もいただきました。

またジブチ滞在中に、ジブチ沿岸警備隊のほか、同国の設備運輸省、国家治安庁と、海賊対策等に関する意見交換を実施しました。

海上保安庁では、関係機関との更なる連携・協力により、海賊に対する法執行活動を適切に遂行するための訓練を継続するとともに、ジブチ沿岸警備隊の法執行能力向上支援等も引き続き実施することで、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋」の実現に貢献します。

1 派遣者

奥島 高弘 (おくしま たかひろ) 海上保安監 他7名

2 日程等

- 17日(日) ジブチ沿岸警備隊との意見交換
- 18日(月) 海賊護送訓練
ジブチ設備運輸省表敬訪問
- 19日(火) ジブチ国家治安庁との意見交換

3 ジブチでの海賊護送訓練、意見交換等



海賊護送訓練（護衛艦から下船）



海賊護送訓練（海賊を護送）



菅内閣総理大臣補佐官による激励



取材対応



ジブチ沿岸警備隊との意見交換



ジブチ国家治安庁との意見交換